



クリスマス会でおしゃべりを楽しむ参加者。個人宅に出向いたり、自宅を開放して、小規模の茶話会も始める(京都市下京区、ひび・まち交流館京都)

京の新生児集中治療、親と子の会

出張カフェで悩み語る

新生児集中治療室(NICU)で育った子どもや家族らでつくる「京都NICU親と子の会」(京都市右京区)が、NICUを退院した子どもがいる家庭などを訪問し、相談に応じる活動「出張カフェ」を1月から始めている。これまで会員以外にも一般向けにイベントを開いてきたが、より相談しやすくし、相手との「距離」も近くする狙いがある。同会スタッフの自宅を開放する「おうちカフェ」も開いている。

スタッフ宅開放も

NICUで育った子 遊ばせたりベビーマッサージしにくい悩みにも感じどもは、一般的な発育サージの講習を受け やすくしたり、「リラ発達の速度と異なったるなどして活動を始める」などと「抵抗力が低いケータ」た。

スも見られ、親が心理 10年11月からは、こと両カフェを企画。的に悩む例もある。同 どもみらい館(中京区) 公益財団法人「京都に声をかけてほしい」会は、同じ病院のNI やひと・まち交流館京 地域創造基金」(下京と呼び掛けている。CUで子どもが育った 都(下京区)で毎月一 区)の「京都子どもフ カフェはいずれも開リマンションが同じ家 般向けに座談会を開 アンド」の助成を受け 催協力費300円が必族が集まって発足。2 き、一緒に遊んだり、 て実施することにし009年5月ごろから 悩みなどを話し合える た。

もがける京都府内の家族の自宅や、友人同士が集まる場所を、同会スタッフが訪問し、悩みや相談などに応じる。「おうちカフェ」は、京都府や滋賀県の家族を対象に、スタッフの自宅に来てもらい、茶を飲みながら話をする。それぞれ毎月1件を受け付ける予定で、希望者と日程を調整して開催する。

梅原代表は「困っていることがあれば気軽に声をかけてほしい」

「出張カフェ」は、654)9620。の携帯電話070(5

(山田修裕)